



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

奉仕と友情



人類に
奉仕する
ロータリー

2016-2017 RI会長メッセージ

第1249回例会 2017年4月5日 No.1219号

会長時間



会長 賀谷 俊幸

皆さんこんにちは！ 本日は中川良浩様、アメード ファイサル様、広島陵北ロータリークラブ例会に参加いただき誠にありがとうございます。ごゆっくりお楽しみください。さて先週の花見夜間例会に引きつづき今週も桜の話題ですが、現在日本で観賞用としての桜はソメイヨシノと言われている品種です。江戸時代末期に品種改良され明治時代に全国各地に広まり桜の花の下の宴会が風物詩となりました。桜は穀物の神が宿るとも稲作神事に関連しているともされ農業にとり昔から非常に大切なものでありました。桜の開花は毎年農業開始の指標とされ「田植え桜」や「種まき桜」と呼ばれています。また「万葉集」「古今和歌集」など和歌にも読まれており、平安時代の歌人である紀友則の歌「ひさかたの光のどけき春の日にしず心なく花ぞ散るらむ」現代語訳は(こんなに日の光がのどかに映っている春の日になぜ桜の花は落ち着かなげに散っていくのだろう)はあまりにも有名です。桜は古くから諸行無常といった感覚にたとえられ「ぱっと咲き」「さっと散る」姿ははかない人生を投影する対象となり日本の精神の象徴のようなものとして例えられ、軍国時代の間違いの方向への象徴の花とされた時もありましたが、昔から和歌、俳句、音楽、文化などの春の象徴としてなじみ深く大多数の人達に好まれています。先週31日、海上自衛隊の観桜会(桜を見る会)に招待出席いたしました。桜は自衛隊の記章などに使用され皇室を含めた公的機関でのシンボルとして日本人のなかに広く広まっています。今年もこの美しい桜を見られる幸せを味わい日本に生まれてよかったなと感じ、世の平安を祈りたいと思います。以上本日の会長時間といたします。

今回の例会(4月12日)

会員卓話

陶山 ケイ子 会員、佐野 隆志 会員

次回の例会(4月19日)

来賓卓話

野球解説者

池谷 公二郎 様

出席報告 (例会運営委員会)

4月5日(水)出席者

会員総数	51名
出席会員	38名
欠席会員	13名
ご来賓	0名
ご来客	1名
ゲスト	2名

来賓者紹介 (親睦家族委員会)

4月5日(水)出席者

広島北RC	1名
-------	----

幹事報告(山田和弘)

■例会変更

- ・広島安佐RC「お花見夜間例会」
【とき】4月6日(木) 18:30～
【ところ】桜下亭
- ・広島南RC「創立61周年記念夫人同伴晩餐会」
【とき】4月7日(金) 18:00～
【ところ】リーガロイヤルホテル4F クリスタル
- ・広島北RC「職場訪問例会」
【とき】4月13日(木) 12:30～
【ところ】マツダスタジアム

・広島北RC

- 「創立48周年記念例会並びに夫人同伴懇親会」
【とき】4月24日(月) 18:00～ [※4/27(木)の変更]
【ところ】ホテルグランヴィア広島

■休会

- ・4月14日(金) 広島南RC

■お知らせ

- ・本日の卓話資料を配付しておりますので、ご確認下さい。
- ・ガバナー月信とロータリーの友(4月号)を配布しております。

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】賀谷 俊幸 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F
【幹事】山田 和弘 【ホームページ】http://www.ryohoku-rc.jp/

【TEL】082-221-4894
【FAX】082-221-4870

来 賓 卓 話

2016年RI規定審議会 私の所感

RI第2710地区 代表議員
諏訪 昭登 様

1. 特に 16-14について

2013年規定審議会(COL)でRI理事会付託(13-64)となって今回、再提案された16-14はRI定款第4条、RC定款第5条「ロータリーの目的」に新世代のグローバルリーダー育成に関する第5項目を追加する件であった。これはRC定款第6条「5大奉仕部門」の第5奉仕即ち青少年奉仕部門が入ったので「目的」にも加えようとするもので、RC運営の実践基準たる前者とロータリーの基本理念「目的」を混同する極めて非常識な提案であった。ここでRIトップに至るまでのロータリー界の基本的ロータリー観が、多くのロータリークラブと同様、極めて混乱あるいは欠如している姿が露呈された。



前回のCOL以降三年間にRI理事会や戦略計画委員会は一体何をしていただろうか。今回は主として日本人代表議員の事前の猛反対により撤回されたので表に出なかったものの、ロータリーの基本理念の根幹を揺るがすこの様な提案の今後の動向は予断を許さないとと思われる。2019年COLに注目し対応する用意が必要であろう。

2. 今回の二大キーポイント

「柔軟性」と「例外規定」の導入ということで、RI理事会提案の16-21と16-36が採択された。16-21によって、従来の会合規定は、年次総会を除き出席規定もすべてクラブ細則で決められることとなった。16-36会員身分の柔軟性についても、16-38で会員身分の条件が改正され新たに「高潔性」「リーダーシップ」が加えられたことで16-21同様に、クラブの見識が強く求められていることでもあり、冷静に判断しなければならぬ。

ここでジョン・ヒューコ事務総長が配信した「クラブ運営に大幅な柔軟性」と題する書簡は、彼の個人的見解が含まれた部分があり混乱を招いたことを付言する。

我々の抗議で事務総長の職権認識の不明瞭が判明したが、その同文を12月に再び斎藤理事が各地区へ配信したことも代表議員の我々には理解できないところである。

同時に配信された細則改正の「例示」も逆にクラブの柔軟性を妨げることではないか。

また、「日本ロータリーの統一見解」を出すことは、RIとの関係上、厳密にはひとかたまりの日本のロータリーは有り得ないから代表議員世話人は発表に賛成していない。その対応は各地区の代表議員の役割であると考えられる。

3. まとめ

元来、特に私達日本人ロータリアンはロータリーの中心概念は職業奉仕であり、倫理性ある職業活動への集中が全ての基本であって正しい在り方と考えてきた。

それが結果として他者と社会への貢献となると信じて、会員個々の自己研鑽、人格形成こそロータリーの目的の中核を成すものだと確信している。また、奉仕＝サービスの真意は役に立つことであり、それが自らの喜びとなることを意味していて、これこそロータリー創立の原点的理念たることを忘れてはならない。ロータリーは多様性ある職業人を中心とした会員が親睦を基本としながらも“奉仕の理念”を体得、実践し、人として倫理性ある職業に努め、人生を意義あらしめようとする誇りある人の集まりである。RIでは時代変化に伴い、いわゆる職業奉仕の定義を刻々と変更して従来の日本人の解釈と大きな隔たりを感じさせるものとなっている。因みに新しき要覧に「ロータリアンの行動規範」は無い。その様な流れの中で時代変化のためとは言え、今回のCOLはロータリーに劇的な変革をもたらすターニングポイントを現出させた。

来 賓 卓 話

視点を変えれば、巨大化した組織と世界規模の人的奉仕活動を維持発展するために必要な莫大なコストをカバーするため、なりふり構わぬ会員増強の道へ走る姿にも見える。そのため、不変であるべきロータリーの基本理念を揺るがせてまでサバイバルを目指す状況なのであろうか。それが、他にも数多く存在する全面的に人的奉仕を最重要とするボランティア団体を今さら目指すことならば、それは愚かと言わざるを得ない。

他方で注目すべきこととしてCOL前日に発表された「RI戦略計画最新情報」では、これまでRIは人的奉仕に重点を置きすぎたことを反省して、会員基盤と奉仕活動を等位置にすると表明している。そのための会員研修の重要性を強調もしている。RIの指標となる戦略計画の今後の動向が注目、期待される場所である。

私は変革を否定するわけではなく、今こそ正しいロータリー観を想起し、我らのロータリーが使命感と誇りあるものであるよう熟考すべき時だと考えている。その前提となるのは、ロータリアンが基本的知識をしっかりと身につけることと自覚し、世界の潮流には抗し切れぬ状況とは言え、職業倫理に裏付けられた高潔性ある“日本の香りのするロータリー”の意識高揚に傾注することが喫緊の課題であることを喚起したい。COLの結果を冷静に受け止めて厳密に取捨選択することが自治権を主張する各RCの責任であり、それを構成するロータリアン達の理解による総合力であることを期待している。正に温故知新、不易流行の心が肝要だと強調する心境である。

今回のCOLの決議で私は2017年6月末まで在任し、当地区73RCを対象に指導、助言を提供する立場にある。必要とされるクラブ細則の改正などについて、正しいロータリー観による変更は大いに推奨するところであるが、反面、むやみに安易な変化を求めることで大きな間違いを起こさないよう冷静な対応をお願いしている。

米 山 奨 学 生 奨 学 金

賀谷会長より米山奨学生ファイサル君へ4月奨学金をお渡し致しました。



.....SMILE BOX

賀谷俊幸 会員、鈴木大次郎 会員、山田和弘 会員、井上進 会員

諏訪様、RI規定審議会の卓話よろしくお願い致します。

森川和彦 会員

諏訪バスターガバナー、本日の卓話をお引き受け頂きありがとうございます。よろしくお願いいたします。

愛谷俊治 会員、石田愼夫 会員、瀬川長良 会員、信原弘 会員

第23回ガバナー杯野球大会に出場された選手の皆さん、応援の皆様、大変お疲れさまでした。残念ですが、1回戦で敗退しました。目標は3位決定戦でズームズーム球場に行く事です。来年は頑張りましょう。

石川貴与和 会員

4月1日三越屋上で開催されました酒の試飲イベント「春の美酒」に800人ほどの来場者があり大盛況でした。ありがとうございました。只、女性2名が救急搬送されたのが反省点です。

当日計	27,000円	累計	803,536円
------------	----------------	-----------	-----------------